

観光

立花山には、たくさん見所があります。中でも、クスノキ原生林は、国特別天然記念物に指定されており、原生林の中でも大規模な貴重なものです。若葉の頃は、約600本のクスノキがいつせいに盛り上がり、山全体が新緑に包まれます。



立花山の観光スポット

屏風岩 ▶ 山頂

屏風岩から山頂にかけて夫婦杉などのスポットがあります。



夫婦杉



屏風岩

一本杉 ▶ 屏風岩

一本杉から屏風岩にかけては比較的なだらかな道がつづき、銘板のついた大きな木々が見られます。



立花山大クス



一本杉

修験坊の滝ルート

登山道入口を過ぎて少し行くと左手に小道があり、途中には滝も見られます。



修験坊の滝

登山道入口 ▶ 一本杉

登山道入口から一本杉までは、所々に急な登り坂もありますが、ナギの大樹などの木々や水場もベンチもあります。



歴史

戦国時代の1330年(元徳2年)頃、立花山七峰の一番高い井楼山(せいろうやま)を本城とし、立花山城は築城されました。約260年の間、立花山城は幾度となく戦乱に巻き込まれ、数多くの城主の入れ替わりがあり、1600年(慶長5年)、福岡城築城に伴い廃城となりました。数多くの現在でも、城跡を思わせる瓦が点在し、石垣と井戸の跡が残っています。

立花山の歴史

立花山城

立花山城は、大友貞載が貿易港博多を支配する筑前の拠点として築城しました。その後、250年間にわたる数々の攻防戦の末、1571年(元亀2年)戸次鑑連(立花道雪)が城主となりました。1581年(天正9年)岩屋城主高橋紹運の子、統虎を養子とし、統虎(立花宗茂)は、道雪亡き後、立花城主となりました。その後、立花山城は小早川隆景が管轄しましたが、1600年(慶長5年)には黒田長政が筑前に移り福岡城を築き、翌年立花山城は廃城となりました。



石垣跡・古井戸

立花山の山腹には築城時の石垣や古井戸を今でも見ることができます。



梅岳寺

1585年(天正13年)立花山城主立花道雪を葬り、現在では道雪、道雪の母、家臣の薦野増時の3人の墓が残されています。



六所神社

立花口の産土神です。立花道雪は六所権現の崇拝が厚く、出陣に際しては戦勝祈願をしたと伝えられています。



案内図



●お問い合わせ
新宮町役場 産業振興課
福岡県糟屋郡新宮町緑ヶ浜一丁目1-1 tel 092-962-0238

●駐車場は3カ所(六所神社横・梅岳寺下・登山道入口)あります。
●トイレは六所神社横の駐車場及び登山道入口に設置していますのでご利用ください。



MT. TACHIBANA

特別天然記念物クスノキ原生林…
大自然に恵まれた立花山。

立花山



春

芽生える新緑「山笑う」

毎年4月第二日曜日に、立花山観光協会による山開きが行われます。多くの立花山ファンが集まり、登山者の安全を祈念し、式典が開催されます。登山シーズンの始まりです！



立花山ファンによる山開きの式典♪

立花山

Tachibanayama

標高367.1mで玄界の海上からも望みされ、昔から海陸交通の目印ともなっていました。山頂付近には、樹齢300年を越えるクスノキが自生しており、国の特別天然記念物に指定されています。立花口からの登山道を登れば頂上まで約1,600m、ゆるやかな傾斜で登りやすく、手軽なハイキングコースとしてたくさんの人に親しまれています。山頂からは、玄界灘や博多湾、相島などの島々、町内や福岡市内の街並みが見渡せ、登山の疲れも一気に癒されます。



県指定天然記念物の六所神社のカゴノキ

夏

まばゆい青緑「山滴る」

暑い夏は、爽やかな山の中で過ごすのがおすすめです。雨が降れば、緑がより鮮やかさを増し、木漏れ日の下では涼しさを感じることが出来る癒しの空間が広がっています。



修験坊の滝ルート

秋

もえ盛る紅葉「山粧う」

山の中の木々が紅く色づく季節は、まるで自然の美術館にきたような気分させてくれます。落ち葉の中でかくれんぼしている虫たちに会えるかも…。



秋には紅葉がキレイ♪

冬

しずけさの冬景色「山眠る」

山の中の凜とした空気の中、草木も眠りにつきます。新年を迎える時、初日の出を見に頂上に登る人が多くいます。新しい一年の平安無事を山頂で祈願してみてもいいですか。



森の巨人たち100選のクスノキ♪